

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ● 京丹波

# 京丹波

No.42

2009年  
4月15日発行

旅立ちのとき  
込み上げる思いを  
歌にのせて

特集

## 予算





今月の表紙

3月23日、三ノ宮小学校で14人の卒業生が、恩師や在校生、保護者らに見守られながら6年間通った学び舎を巣立ちました。中学校の制服を身にまとい、新たな一歩を踏み出そうとする卒業生の姿は、見守る保護者にどのように映ったのでしょうか。  
(関連記事を19ページに掲載)

特集  
平成21年度

# 予算

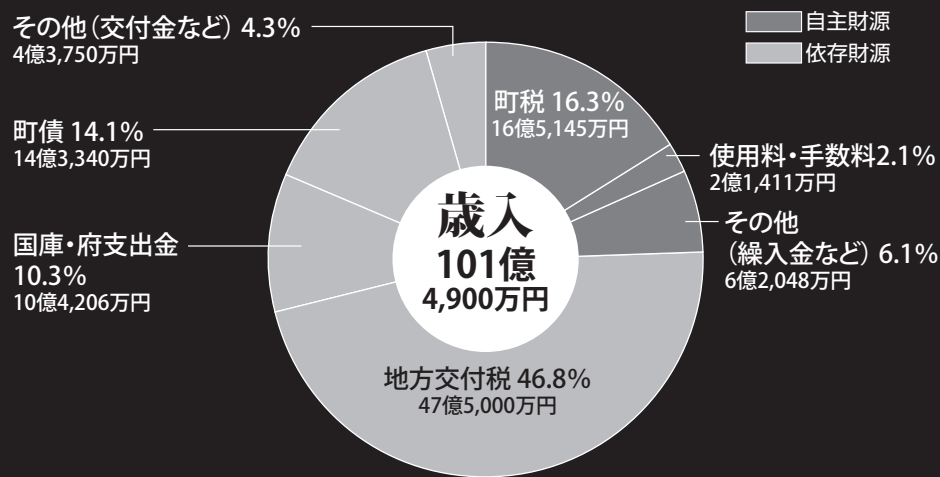
## 一般会計 歳入

歳入には、町税など町が自らの力で収入できるお金(自主財源)と、国や府から交付されたり、割り当てられたりするお金(依存財源)があります。グラフのとおり、自主財源は歳入全体の二四・五%で、残りの七五・五%は国・府支出金(負担・補助・委託金)や町債(借入金)などの依存財源に頼っている状況です。

自主財源の柱である町税は十六億五、四五百円を計上。町民総所得の伸びが依然としてマイナス基調にあることや法人税の大幅な落ち込みなどにより、前年度と比べて六、八三四万円減額しています。

一方、依存財源では、最大の収入源である地方交付税を四十七億五、〇〇〇万円とし、国・府支出金を十億四、二〇六万円、町債を十四億三、三四〇万円見込んでいます。

歳入においては、過天見積りにならないよう精査するとともに、前年度の推移



から見定める財源をほぼ満額計上しています。このことにより、三年連続して財政調整基金(貯金)の取り崩しを抑え、将来的な財政需要に備えました。なお、そのほかの歳入はグラフのとおり見込んでいます。

## 京丹波 No.42 CONTENTS

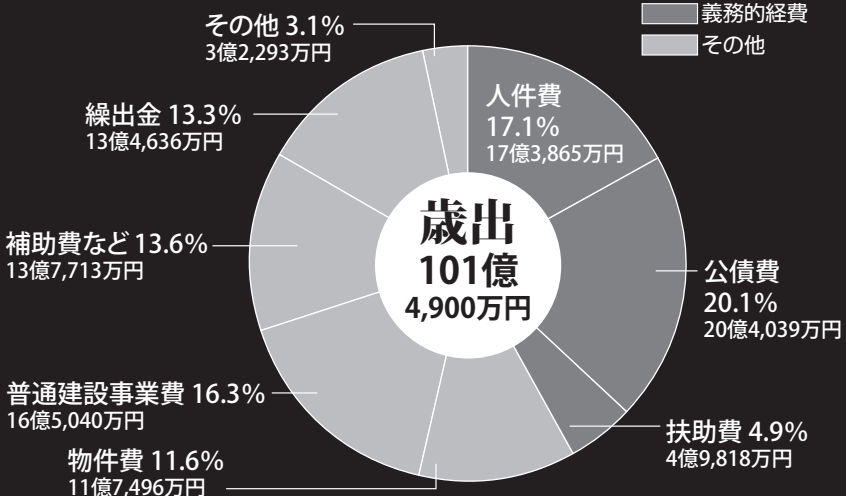
- 2 特集 予算
- 8 職員の配置
- 12 [シリーズ]まちづくりスクエア  
—「住民自治組織によるまちづくり」に向けて
- 14 暮らしのガイド  
—65歳以上の方の介護保険料を統一します  
—国民健康保険税の税率を改定します
- 16 Dr's Message いきいき健康術
- 17 フラッシュ TOWN NEWS 2009
  - 地域スポーツの発展に貢献  
—京丹波町スポーツ賞授与式
  - 菌床シイタケの生産量拡大に向けて  
—シイタケ菌床製造施設竣工式
  - 新たに始まる裁判員制度を学ぶために  
—裁判員制度説明会
  - 安全な道路を目指して町道の改良工事が完成  
—町道大迫上乙見線道路改良工事完成式
  - 地域資源を掘り起こして活性化の方向性を探る  
—「元気! 長瀬の会」がワークショップを開催
  - 思い出を胸に新たな旅立ち  
—卒業・卒園式
  - 乳幼児の健康を守るために  
—子育て講演会
  - 地域の伝言板わくわくBOX
- 20 [まちの元気人④]梅原千里さん

## 一般会計 歳出 [性質別]

歳出のうち、人件費や扶助費(医療費助成などの経費)、公債費(町債の返済金)は「義務的経費」として支出が義務づけられています。グラフのとおり、本町では義務的経費が歳出全体の約四二・%を占めており、依然として町の財政はゆとりのない状況にあります。

こうした中、人件費は十七億三、八六五万円を計上し、前年度に比べて七、五〇〇万円の減額。引き続き、特別職や管理職手当の減額をはじめ、時間外勤務手当の抑制、職員の定員適正化などに努めていきます。

公債費については二〇億四、〇三九万円を計上し、このうち一億七、〇〇〇万円を繰上償還に充てています。また、物件費は、事務経費の精査に努めましたが、妊婦健康診査の助成拡充や小学校学習指導要領の改訂などにより、前年度比一、六五三万円の増額となっています。



歳出の主なものでは、CATV拡張整備事業(六億五、八二六万円)、協働のまちづくり事業(三四四万円)、新型インフルエンザ対策事業(六〇万円)、瑞穂地区保育所建設事業(一億六、二八〇万円)、畑川ダム建設関連事業(二、三三三万円)、松山小学校施設耐震改修事業(一、五二三万円)などを計画しています。このほか詳しくは次ページのとおりです。

平成二十一年度当初予算が三月の議会定例会で可決され、成立しました。予算総額は一七七億六、五二六万円(一万円未満四捨五入、以下同じ)。内訳は、一般会計が一〇一億四、九〇〇万円、特別会計が七十六億一、六一六万円(財産区会計除く)です。

一般会計は前年度と比べ約一億円の減額。主な事業としては、町内の情報基盤を統一し、地上デジタル放送や高速ブロードバンド化への対応を目指す「ケーブルテレビ(CATV)拡張整備」をはじめ、住民自治組織の組織化を支援する「住民自治組織まちづくり交付金」、世界規模で発生が懸念されている「新型インフルエンザ対策」のほか、瑞穂地区の保育所建設に向けた用地取得、松山小学校の耐震改修などを盛り込んでいます。

また、将来の財政負担の軽減や実質公債費比率を抑制し財政の健全化を図るために、公債費の繰上償還を一億七、〇〇〇万円計上しています。

【実質公債費比率】公債費(借入金)返済額が自治体収入に占める比率を示す指標。従来の起債制限比率に反映されていたが、貸付企業の借入金返済のための繰出金を含む比率が十八%を超えると地方債発行に市町村の許可が必要となり、二五%を超えると単独事業の地方債発行が一部認められなくなります。



特集 **予算**

保健センター管理事業	1,202万円
ごみ処理対策事業	315万円
船井郡衛生管理組合に関する経費	2億9,478万円
水道事業特別会計繰出金	3億1,003万円

**農林水産業費** 16億1,774万円

農業委員会の運営など	687万円
農業総務費(職員の給与など)	6,569万円
京野菜こだわり産地支援事業	509万円
中山間地域等直接支払事業	1億1,550万円
水田農業構造改革対策助成事業	2,212万円
丹波ふるさと振興公社・農業公社運営補助	1,750万円
農地・水・環境保全向上対策事業	1,120万円
丹波食彩の工房管理運営委託	1,400万円
瑞穂マスターズ施設管理運営委託	500万円
有害鳥獣対策事業(防除施設設置事業補助)	1,217万円
その他農業振興に関する経費	1,742万円
鳥インフルエンザ対策に関する経費	71万円
畜産振興に関する経費	859万円
南丹地区農用地総合整備事業	5,964万円
農地保全事業	1,028万円
小規模農業基盤整備事業	2,396万円
農業農村整備事業(下山天満宮ため池改修)	5,732万円
下水道事業特別会計繰出金	2億1,223万円
(農業集落排水事業)	
その他農地保全などに関する経費	794万円
山村開発センターの管理運営	755万円
情報センター(丹波・瑞穂)の管理運営	1億858万円
(職員給与など含む)	
新山村振興等農林漁業特別対策事業	207万円
CATV拡張整備事業	6億5,826万円
林業総務費(職員給与など)	1,945万円
有害鳥獣捕獲事業	1,657万円
公有林整備事業	1,878万円
森林整備地域活動支援事業	1,831万円
森林管理道開設事業(和知地区才原一広瀬)	3,005万円
その他林業振興に関する経費	5,829万円
林業センターの管理運営	382万円
内水面漁業振興対策事業	279万円



本年4月から名称を変更した「国保京丹波町病院」。町立医療施設の中核病院として、地域のみなさんの健康を守ります。

重度心身障害老人健康管理事業	3,286万円
心身障害者医療事業	4,624万円
自立支援医療給付事業	1,789万円
障害者自立支援事業	1億9,241万円
地域生活支援事業	3,674万円
その他障害者福祉に関する経費	476万円
老人医療事業	3,198万円
シルバー人材センター事業	633万円
介護保険特別会計繰出金	2億2,938万円
在宅高齢者等生活支援事業	2,224万円
府後期高齢者医療広域連合事務事業	2億4,931万円
その他老人福祉に関する経費	1,868万円
国民年金事務に関する経費	75万円
児童手当支給事業	1億739万円
すこやか子育て医療費助成事業	3,077万円
すこやか子育て祝金事業	890万円
発達支援事業	533万円
その他子育て支援に関する経費	2,173万円
母子父子家庭医療事業など	1,019万円
子育て支援センター事業	613万円
保育所の運営管理(職員給与など含む)	3億2,270万円
瑞穂地区保育所建設事業	1億6,280万円

**衛生費** 12億6,560万円

保健衛生総務費(職員給与など)	9,609万円
母子・成人保健、健康増進事業	1,306万円
特定健康診査等事業	1,456万円
後期高齢者健康診査事業	782万円
高齢者実態把握事業	464万円
その他保健事業に関する経費	3,495万円
予防接種事業	2,340万円
新型インフルエンザ対策事業	160万円
合併浄化槽設置整備事業	717万円
下水道事業特別会計繰出金	4,884万円
(浄化槽市町村整備推進事業)	
その他環境衛生に関する経費	300万円
南丹病院組合負担金	1,936万円
病院事業運営補助金	3億6,917万円
地域医療一般経費(質美診療所勘定の整理含む)	196万円



町内の情報格差を解消し、地上デジタル放送や高速ブロードバンド化への対応を目指して、ケーブルテレビ拡張整備を行います。写真は、自主放送番組収録の様子。(京丹波町情報センター)

一般会計  
主な使いみち

# 101億円を こう使う

10,149,000,000

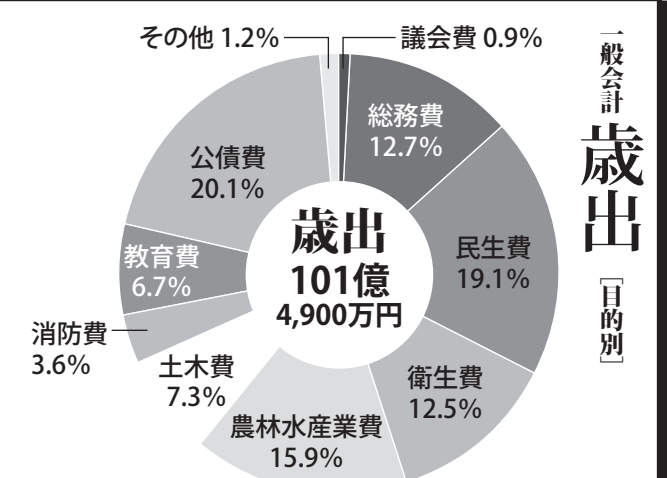
自治振興補助金事業	60万円
協働のまちづくり事業	344万円
(住民自治組織設置支援など)	
ホームページの運用管理	50万円
行政情報システムの運用管理など	3,921万円
情報化推進に関する経費	2,611万円
(地域イントラネット・インターネット運営など)	
国際交流推進事業(施設管理含む)	308万円
人権啓発・男女共同参画推進など	245万円
税務に関する経費(職員給与など含む)	7,817万円
戸籍住民基本台帳管理に関する経費	4,036万円
(職員給与など含む)	
選挙管理委員会・選挙啓発事業	53万円
衆議院議員総選挙の執行	1,400万円
町長・町議会議員選挙の執行	1,822万円
農林業センサス事業	357万円
各種統計調査に関する経費	200万円
監査委員会事業	60万円

**民生費** 19億4,050万円

国民健康保険特別会計(事業勘定)繰出金	9,119万円
社会福祉総務に関する経費	2億6,169万円
(在宅介護支援センター運営や職員給与など)	
和知高齢者コミュニティセンター管理運営委託	70万円
共同作業所入所訓練事業	2,142万円



住民自治組織によるまちづくりを推進するために、「住民自治組織まちづくり交付金」や「地域力向上事業交付金」を創設し、住民自治組織の組織化などを支援します。写真は、住民自治組織によるまちづくり懇談会。(瑞穂支所)



**議会費** 9,301万円

議会運営に関する経費	9,301万円
(議員報酬や職員給与など含む)	

**総務費** 12億9,059万円

電子入札事業	234万円
一般管理に関する経費	4億3,730万円
(区長会運営や職員研修、職員給与など)	
広報京丹波(おしらせ版含む)の発行など	376万円
例規集管理事業	785万円
財政・会計・財産管理に関する経費	2億5,982万円
(町有財産・庁舎管理、基金積立事業など)	
山陰本線(京都一園部間)複線化事業	6,733万円
総合計画推進事業	157万円
その他総合企画に関する経費	233万円
支所の管理に関する経費	2億128万円
(和知支所空調設備改修や職員給与など)	
公平委員会事業	5万円
街灯設置補助金・防犯協会負担金など	204万円
グリーンランドみずほ管理運営事業	2,495万円
町営バス運行事業特別会計繰出金	4,498万円
交通対策に関する経費	214万円
(交通安全啓発や交通指導員活動、放置車両対策など)	



# 特別会計当初予算の概要

## 国民健康保険事業

事業勘定の歳入のうち、自主財源である国民健康保険税は四億三、六二一万円。主な歳出は、保険給付費に十一億六、九一八万円、後期高齢者支援金に二億三、一九一万円、特定健診などの保健事業費に三、三三九万円を計上しています。

診療所勘定では、和知診療所や和知歯科診療所の医業費などを見込んでいます。

## 老人保健

後期高齢者医療制度への移行に伴い、昨年三月診療分までの月遅れ請求の医療給付費などに必要な予算を計上しています。

## 後期高齢者医療

後期高齢者医療制度を運営する京都府後期高齢者医療広域連合の算定に基づく保険料を徴収し、広域連合に納付するための予算を計上しています。

## 介護保険事業

事業勘定の歳入のうち、自主財源である保険料は二億六、二〇〇万円。主な歳出は、保険給付費に十六億二、七七一万円、地域支援事業費に三、九〇〇万円を計上しています。

また、サービス事業勘定では、地域包括支援センターを拠点に、介護予防支援事業を推進します。

## 水道事業

歳入のうち、使用料は四億七、一九九万円。主な歳出は、水道事業に一億三、五七三万円、簡易水道事業に一億五、六二八万円、公債費の償還に六億六、三二万円を計上しています。

なお、統合簡易水道整備事業は、丹波・瑞穂地区で八一%、和知地区で七〇%の進捗よく（二十年度末）を見込んでいます。

## 下水道事業

歳入のうち、使用料は二億九、三三三万円。歳出では、前年度に引き続き、公債費の補償金免除での繰上償還を七、一六六万円計上し、経営の健全化に努めています。このほか、公共下水道施設整備事業に三、一五四万円、浄化槽市町村整

備推進施設整備事業に、七四九万円などを計上しています。

## 町営バス運行事業

児童生徒の通学や町民の交通手段確保のための町営バス運行経費を計上しています。

## 土地取得

基金の運用益を計上しています。

## 育英資金給付事業

育英資金の目的に基づいた給付金の支給経費を計上しています。

## 国保京丹波町病院事業

収益的収入・支出に八億五、五六七万円を計上。収入のうち、入院や外来などの医業収益を七億四五〇万円見込んでいます。

病院建設事業債の償還が本格化し厳しい経営環境ですが、「国保京丹波町病院」に名称変更し、質美診療所を附属化することで、名実ともに町民に信頼される中核病院としていきます。また、経営の健全性と保健・福祉・医療の連携を強化することで、患者のニーズに応えられる地域包括医療の推進に努めていきます。

## ■会計別当初予算額

会計名	本年度	前年度	比較
<b>一般会計</b>	<b>101億4,900万円</b>	<b>102億5,800万円</b>	<b>△1億900万円</b>
<b>特別会計・企業会計</b>	<b>76億1,616万円</b>	<b>78億5,384万円</b>	<b>△2億3,768万円</b>
国民健康保険事業(事業勘定)	18億9,109万円	18億349万円	8,760万円
国民健康保険事業(質美診療所)	0円	1,794万円	△1,794万円
国民健康保険事業(和知診療所)	3億3,720万円	3億5,606万円	△1,886万円
国民健康保険事業(和知歯科診療所)	7,007万円	7,103万円	△96万円
老人保健	2,271万円	2億4,990万円	△2億2,719万円
後期高齢者医療	1億9,385万円	1億9,894万円	△509万円
介護保険事業(事業勘定)	16億8,854万円	15億7,046万円	1億1,808万円
介護保険事業(サービス勘定)	683万円	685万円	△2万円
水道事業	12億7,780万円	13億5,560万円	△7,780万円
下水道事業	10億2,300万円	12億円	△1億7,700万円
町営バス運行事業	7,864万円	1億2,294万円	△4,430万円
土地取得	44万円	42万円	2万円
育英資金給付事業	360万円	321万円	39万円
国保京丹波町病院	10億2,239万円	8億9,700万円	1億2,539万円

## 消防費 3億6,041万円

京都中部広域消防組合負担金…………… 2億2,890万円  
 消防団活動運営事業…………… 7,684万円  
 消防施設の維持管理…………… 1,162万円  
 その他消防防災に関する経費…………… 198万円  
 消防施設整備事業(防火水槽など)…………… 3,448万円  
 その他消防・防災・災害対策に関する経費…………… 659万円  
 (住宅用火災警報器設置や防災行政無線維持管理など)

## 教育費 6億7,850万円

教育委員活動事業…………… 173万円  
 学童保育事業…………… 1,048万円  
 教育委員会事務局一般経費…………… 1億3,271万円  
 (職員給与や学校指導主事設置など)  
 育英資金給付事業特別会計繰出金…………… 174万円  
 松山小学校施設耐震改修事業…………… 2,513万円  
 その他小学校施設の管理に関する経費…………… 1億1,566万円  
 (職員給与など含む)  
 小学校学習支援教員等配置事業…………… 819万円  
 その他小学校教育振興に関する経費…………… 3,249万円  
 中学校の管理に関する経費(職員給与など)…………… 5,308万円  
 中学校教育振興に関する経費…………… 5,690万円  
 (中学生国際交流、スクールバス運行など)  
 幼稚園の管理運営に関する経費…………… 6,794万円  
 (職員給与など含む)  
 社会教育団体体育成事業…………… 328万円  
 社会教育振興に関する経費…………… 699万円  
 (国民文化祭準備や成人式開催など)  
 公民館管理運営、図書館活動など…………… 3,166万円  
 文化財保護に関する経費…………… 113万円  
 体育団体体育成事業…………… 420万円  
 社会体育振興に関する経費…………… 331万円  
 (生涯スポーツ振興や海洋センター活動など)  
 体育施設の維持管理に関する経費…………… 1,373万円  
 学校給食事業(職員給与など含む)…………… 1億814万円

## 商工費 9,311万円

商工総務費(職員給与など)…………… 1,326万円  
 商工業振興事業…………… 2,185万円  
 企業誘致対策事業…………… 337万円  
 商工業振興に関する経費…………… 665万円  
 (消費生活行政や融資保証料補給事業など)  
 質志鐘乳洞公園の管理運営…………… 1,151万円  
 特産館「和」、わち山野草の森管理運営委託…………… 2,800万円  
 農林業体験公園管理委託…………… 120万円  
 その他観光振興に関する経費…………… 727万円

## 土木費 7億4,336万円

土木総務費(職員給与など含む)…………… 7,574万円  
 道路台帳整備事業…………… 200万円  
 交通安全施設設置事業…………… 510万円  
 道路橋りょうの維持管理など…………… 1,996万円  
 道路新設改良事業…………… 2億7,862万円  
 河川維持管理事業…………… 837万円  
 河川改良事業…………… 2,725万円  
 畑川ダム建設関連事業…………… 2,383万円  
 都市・国土利用計画に関する経費…………… 36万円  
 都市公園整備(須知)などに関する経費…………… 5,254万円  
 下水道事業特別会計繰出金…………… 2億3,996万円  
 (公共下水道事業)  
 町営住宅維持管理事業…………… 947万円  
 住宅・建築物耐震診断事業…………… 16万円



安心・安全な教育環境を確保するために、松山小学校の耐震改修工事を行います。

※1万円未満を四捨五入しているため、合計金額が合わない場合があります。

安全な道路環境を目指して、町道の新設や改良工事を順次進めていきます。写真は、本年度に新設改良工事を計画している町道西階中央線。(丹波地区西階地内)





Kyotamba Town

# 職員の配置

4月1日付け、人事異動を行い、職員の配置は次のとおりになりました。(嘱託職員など除く、敬称略)  
なお、支所の地域総務室と地域振興室は廃止し、一元化しました。

## 健康管理センター

京丹波町須知鍋倉1番地1

子育て支援課 ☎82-1394  
【課長】山田由美子  
【課長補佐】田中博典  
【支援係長】芦谷真由美  
【作業療法士】石原詩子

保健福祉課丹波地域保健福祉室 ☎82-1800  
【室長】山鳥 強

金江美和・山口知哉



▲MAP  
健康管理センター

## 国保京丹波町病院

京丹波町和田大下28番地

国保京丹波町病院 ☎86-0220  
【院長】佐藤秀一郎  
【事務長】藤田正則  
【看護師長】石田由美子  
【副院長】垣田秀治  
【外科部長】前田武昌

【事務主任】石田美穂・豊嶋浩史  
【事務員】山田泰行・原澤美和

【看護主任】上田武美・平田千春・林 真紀

【看護師】  
細見友子・竹内和代・上田ひとみ・大西正美・谷掛郁代・伏原幸子・中村育美・田路利恵・西山由里・谷口紀久恵・貞守京子・田中真由美・野村厚子・小寺恵美・米山栄一・石原範子・白波瀬小百合・小川和代

【放射線技師】山内敏行  
【薬局長】腰山節子  
【薬剤師】松村陽子  
【理学療法士】井爪直美  
【管理栄養士】西垣公代

## 瑞穂保健福祉センター

京丹波町和田中6番地1

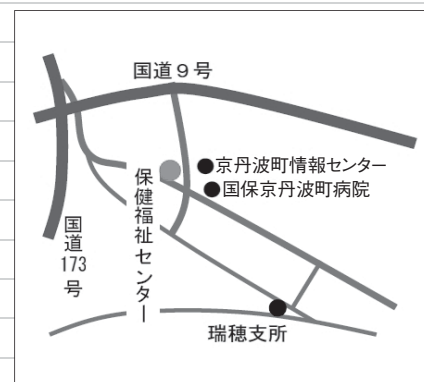
保健福祉課 ☎86-1800  
【課長】堂本光浩  
【課長補佐】山森英二・木下浩昭・古谷千津子  
【健康推進係長】上原美智子  
【健康推進係主任】永海貴子・藤田むつみ  
【福祉係長】山根美智代  
【介護保険係長】徳島康善  
【包括支援センター主任】井上祐子

吉田敦美・大西孝治・吉田 聡・福本糸み子・村山奈央・久保元真一・小池由加里

【栄養士】上林小百合  
【保健師】  
島田恵子・堀 道枝・西村美智子・保田智子・中川早苗・保ヶ部直子・蓮見純子

## 京丹波町情報センター

京丹波町和田中15番地1



▲MAP  
瑞穂保健福祉センター  
国保京丹波町病院  
京丹波町情報センター

企画情報課情報推進室 ☎88-5000

【室長】藤井雅文  
【主任】原澤 恒・堀内浩二

田畑昭彦・北村和正・西村公貴・山内美幸・中村 匠(新規採用)

## 京丹波町役場本庁

京丹波町蒲生八ツ谷62番地6 代表☎82-0200

土木建築課 ☎82-3806  
【課長】十倉隆英  
【課長補佐】高畑利彦・榎川 諭・樹山敏彦

【管理係長】(榎川 諭)  
【管理係主任】西野菜保子  
【土木係長】山内和浩  
【土木係主任】保田志信  
【建築係長】(高畑利彦)  
【ダム推進係長】(樹山敏彦)

田尻 穂・荻野雅則・山下 徹・秋山卓弘

会計室 ☎82-3804  
【会計管理者】岡本佐登美  
【室長】川島勇人  
【出納係長】樹山敬子

羽生田真由

税務課 ☎82-3802  
【課長】稲葉 出  
【主幹】福井彰一郎・伊藤康彦  
【課長補佐】野間 隆  
【賦課係長】中井伸幸  
【徴収係長】(野間 隆)

梅原千里・下村邦喜・畠中美子・伴田裕章・川勝千裕(新規採用)

住民課 ☎82-3803

【課長】伴田邦雄  
【課長補佐】吉田 正・谷口 誠  
【戸籍住民係長】松下すみ子  
【保険年金係長】岡本明美  
【環境推進係長】(吉田 正)

山内智美・光枝三千代・島 文子・原澤 洋・西村明美・上原康宏・井口理恵

地域医療課 ☎82-3809

【課長】下伊豆かおり  
【医療係長】(下伊豆かおり)

正田智久

産業振興課 ☎82-3808

【課長】久木寿一  
【課長補佐】今西政治・一谷 寛・木南哲也  
【農林振興係長】橋本賢二  
【農林振興係主任】栗林英治  
【農林事業係長】大西弘一  
【商工観光係長】四方晴美  
【企業立地推進係長】中川 豊

井上晴之・山本桂市・西山宏明・竹村 洋・小崎亮太(新規採用)



▲MAP  
京丹波町役場本庁／中央公民館

参事 田端耕喜

議会事務局 ☎82-3805

【事務局長】長澤 誠  
【局長補佐】西山民子  
【庶務係長】(西山民子)

石田武史

総務課 ☎82-3800

【課長】谷 俊明  
【課長補佐】岡本英子・松山征義・大西義弘  
【総務係長】田中晋雄  
【人事秘書係長】上林潤子  
【人事秘書係主任】太田創一  
【財政係長】(松山征義)  
【消防防災係長】片山 健

水間和美・野々口慶司・上西貴幸・山内善史・堀 孝子・並河直樹・山内明宏・豊嶋裕美・奥戸志帆(新規採用)

監理課 ☎82-3811

【課長】山田洋之  
【主幹】松原武司(京都府)  
【総務契約係長】(山田洋之)  
【指導検査係長】(松原武司)

大秦 学・山内敏史(京都府派遣)・中村昭夫(京都府派遣)

企画情報課 ☎82-3801

【課長】岩崎弘一  
【主幹】藤田義幸  
【総合企画係長】中野竜二(まちづくり推進担当)  
【広報広聴係長】(岩崎弘一)  
【人権政策係長】(藤田義幸)  
【交通対策係長】小谷誠之

野々口清仁・四方妃佐子・山内圭司・小原直也(まちづくり推進担当)・片山加奈

【瑞穂バス事業所】三好 稔  
【和知バス事業所】河谷勝治

## 退職職員

(3月31日付、敬称略。( )は前職)

山田 進  
(産業振興課長兼農業委員会事務局長)

岩田恵一  
(税務課長)

上原 守  
(水道課主幹)

上田 進  
(瑞穂支所主幹)

松岡知子  
(上豊田保育所所長補佐兼下山分園長)

湊 史明  
(土木建築課課長補佐兼ダム推進係長)

船越 誠  
(水道課上水道係長(事業担当))

西田美代子  
(わちエンジェル主任)

山鳥ゆり  
(上豊田保育所下山分園主任)

岡本芳明  
(教育委員会事務局社会教育課丹波分室主査)

稲葉文男  
(保健福祉課和知地域保健福祉室主査)

山内博子  
(瑞穂病院看護師)

畑中協治  
(水道課主査)

山本俊夫  
(和知支所地域振興室主査)

村岡和恵  
(上豊田保育所養護教諭)

藤田妙子  
(和知学校給食センター調理員)

小室みさよ  
(上豊田保育所調理員)

荒井利子  
(竹野小学校用務員)

宮崎 聡  
(和知診療所医師)

中島早苗  
(和知歯科診療所歯科衛生士)

## 学校・保育園など

上豊田保育所 ☎82-2056

【所長】山内善博  
【所長補佐】北村世津子  
【主任】軽尾早苗  
【保育士など】  
前村こず枝・井上亜希子・大秦優子・  
岸本沙奈美・佐々谷美穂・中西靖浩・  
國領千紗子・新庄美和子(新規採用)

■下山分園 ☎83-0004

【園長】(山内善博)  
【主任】湊 直美・上田千恵子  
【保育士】  
野口加代里・細見ルミ

桧山保育所 ☎86-0574

【所長】津田知美  
【所長補佐】東 直美  
【主任】北村恵里子  
【保育士】  
下村秀美・山内里佳子・谷口絵理・  
梅垣奈未・矢田彰子(新規採用)・  
谷 麻美(新規採用)

わちエンジェル ☎84-1920

【所長】大槻澄子  
【所長補佐】真野照美  
【主任】山内幸子  
【保育士】  
尾池奈緒美・越川憲子・小室由紀・  
片山奈穂・久保元恵子

須知幼稚園 ☎82-0151

【園長】杉尾富美子  
【教頭】谷 久美子  
【主任】西村喜代美  
【教諭など】  
浦井美紀・湊 玲奈・小林和子・  
山口利一・小森由佳梨(新規採用)・  
越浦宏美(養護教諭、新規採用)

小中学校・給食センター

【丹波ひかり小学校】村山美智子  
【桧山小学校】森下 満  
【三ノ宮小学校】山田知恵子  
【蒲生野中学校】和田 隆  
【瑞穂中学校】北井邦江

【丹波給食センター】小林富美子  
【和知給食センター】水口さき子

## 和知診療所

京丹波町本庄今福5番地

和知診療所 ☎84-1112

【所長】中村泰也  
【事務長】中尾裕之  
【看護師長】今海美代子

【事務長補佐】山田和志  
【事務員】出野文隆

【看護主任】中村幸子  
【看護師】  
坂本 恵・竹内秀子・川勝里美・  
大西初美・大西好美・山内和子・  
山田加奈恵・山森要子・片山亜紀

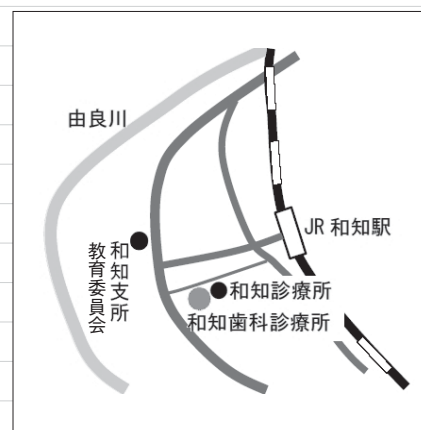
【放射線技師】諫本慶春  
【理学療法士】大田有次  
【薬剤師】村上康司

## 和知歯科診療所

京丹波町本庄今福13番地

和知歯科診療所 ☎84-1154

【所長】坂下敦宏  
【事務長】(中尾裕之)  
【事務長補佐】(山田和志)  
【医師】舟木 健  
【主任】山口秀子  
【歯科衛生士】片山昭子  
【歯科技工士】堀 太



▲MAP  
和知支所  
教育委員会  
和知診療所  
和知歯科診療所

## 和知支所

京丹波町本庄ウエ16番地

和知支所 代表☎84-0200

【支所長】藤田 真  
【支所長補佐】梅原昇治  
【主任】片山利枝・  
堀 友輔(まちづくり推進担当)

片山長男・長谷川 真・  
山下 稔(まちづくり推進担当)・  
片山晴子・小林篤史・山西博美・岡本 淳

保健福祉課和知地域保健福祉室  
☎84-0049

【室長】谷口いづみ

原田結城

## 教育委員会

京丹波町本庄ウエ16番地(和知支所内)

教育委員会 ☎84-0028

【次長】野間広和  
【主幹】長谷川博文  
■学校教育課  
【課長】(長谷川博文)  
【学校教育係長】十倉克也  
【総務係長】谷口玲子

保田利和・堀 敬之・藤井知宝

■社会教育課  
【課長】永武幸子  
(兼B&G海洋センター所長)  
【社会教育係長】村山英紀  
【文化財係長】(永武幸子)

西田明範・山内秀文・西山直人

## 瑞穂支所

京丹波町橋爪松山49番地

瑞穂支所 代表☎86-0150

【支所長】野村雅浩  
【支所長補佐】坂本 優  
【主任】上西睦美・塩田 誠・八木敏和

田中美智子・友金輝幸・  
山下 泰(まちづくり推進担当)・  
細野江梨子・松谷洋二・  
小松聖人(まちづくり推進担当)

教育委員会社会教育課瑞穂分室  
☎86-1150

高屋敦彦



▲MAP  
瑞穂支所

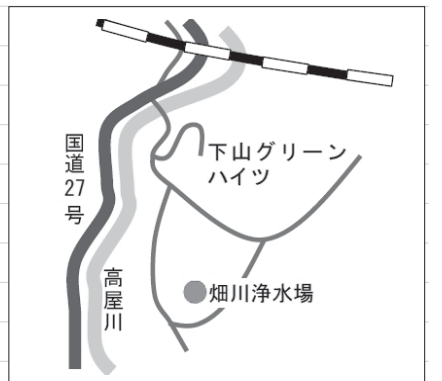
## 畑川浄水場

京丹波町下山クラベシ41番地

水道課 ☎83-9105

【課長】中尾達也  
【主幹】松村康弘  
【課長補佐】増谷隆男  
【上水道係長(庶務担当)】竹内 健  
【上水道係長(事業担当)】岩崎勝也  
【下水道係長(庶務担当)】上林太志  
【下水道係長(事業担当)】(増谷隆男)

友金久美子・宇野浩史・小山 潤・  
村田弘之・松下由美・吉田和晃・  
軽尾圭造・森田 亮(新規採用)



▲MAP  
畑川浄水場

定額給付金等対策室(町中央公民館内)

☎82-3815

定額給付金や子育て応援特別手当の事務を行うために、本年10月5日まで設置。  
職員はすべて兼務とする。

【室長】田端耕喜  
【担当室長】岡本佐登美  
【室長補佐】川島勇人  
【主任】片山利枝・塩田 誠・山根美智代・田中晋雄・芦谷真由美

片山長男・小松聖人・西村明美・田畑昭彦・並河直樹



シリーズ「まちづくりスクエア」では、地方分権が進む中、全国的に注目を集めている「住民自治組織によるまちづくり」について考えます。今回は、既存組織の紹介として松山地域振興会の今後の展望に迫るとともに、地域づくりをサポートする、町の新しい二つの交付金制度の概要をお伝えします。

Series 7

地域づくりをサポートする

Administrative Support

# 交付金制度

表1 地域力向上事業交付金

交付金額 上限 **50,000円**

交付対象 ●おおむね小学校区の地域住民で構成する住民自治組織  
●住民自治組織の組織化を目的とした団体

▶ 交付金の支出例

項目	金額(円)	摘要
消耗品	10,000	模造紙、付箋など
印刷費	5,000	資料印刷など
食糧費	21,000	湯茶代など
使用料	14,000	会場使用料など
合計	50,000	

表2 住民自治組織によるまちづくり交付金

均等割 1組織につき **200,000円**  
+  
人口割 1人につき **50円** (人口は毎年4月1日現在の住民基本台帳人口)

※上記により算出して得た額を上限とし、予算の範囲内で交付します。

**【交付対象団体】** ①～③を満たす組織  
①おおむね小学校区内の区(自治会)、各種団体などで構成され、地域の総意が反映されている。  
②規約があり、意思決定や役員選出、会計などが民主的で透明性がある。  
③地域内のだれもが運営に参画でき、地域に開かれた組織である。

## 二つの交付金制度のポイント

地域力向上事業交付金(表1)は、住民自治組織の組織化をめざして「地域力向上事業」に取り組み団体などを支援する制度。地域力向上事業とは、地域住民のみならず、話し合い(グループワーク)やアンケートなどを通じて地域の現状や課題、魅力などを見つめ直し、今後の地域のあり方を見出すことを目的とした事業です。同制度は、地域力向上事業の運営経費として五万円を上限に交付金を交付し、各地域におけるこれからのまちづくりの「きっかけづくり」をサポートします。

一方、住民自治組織によるまちづくり交付金(表2)は、住民自治組織(上記①～③を満たす組織)の活動を支援する制度。真に地域が主体となった、それぞれの地域の特性に応じた魅力ある地域づくりを推進するため、交付金の使途を制限せず、地域の創意と工夫、判断と責任に基づいて柔軟に活用できる「自由度の高さ」が特徴です。



住民自治の先進地・兵庫県佐用町三日月地域へ視察に訪れ、同地域の住民自治組織「三日月地域づくり協議会」の説明に耳を傾ける松山地域振興会の役員。(佐用町三日月地域づくりセンター、平成21年1月23日)

## 組織のあり方の検討を今年度から開始

松山小学校区内の九集落で構成している松山地域振興会は、各区長や財産区管理委員会など計二十人が会員となつて組織を運営。設立以来、地域内の道路・河川など課題箇所の現地踏査と集約、これに基づく関係機関への請願・陳情、地域振興に関する先進地視察を行い、地域づくりに重要な役割を果たしています。

「近年、社会情勢は急変しており、地域自ら活性化の機運を向上させる必要に迫られています」と将来を見据えた取り組みの必要性を示唆する中西隆夫会長。「町の『住民自治組織に

よるまちづくり基本指針(昨年三月策定)や支援施策の新設(次ページ)などを契機に、松山地域振興会も今後の組織のあり方を検討していく必要があります」と話します。

今年一月、兵庫県佐用町三日月地域を視察した同振興会。先進事例を肌で学んだ役員の間では、今後のより良い組織づくりへの機運が高まっています。「今年度から振興会役員をはじめ、地域の女性や若者、高齢者など幅広い人材で、ワークショップなどを通じて、これからの地域づくりや振興会組織のあり方を話し合っていければ」。

中西会長は今後の方向性をこのように話してくれました。

# 幅広い人材の参画で、地域の未来を考える。

◎松山地域振興会

新しい地域づくりに向けた今後の展望に迫ります。

松山地域振興会会長  
**中西隆夫**さん(八田)  
Takao Nakanishi



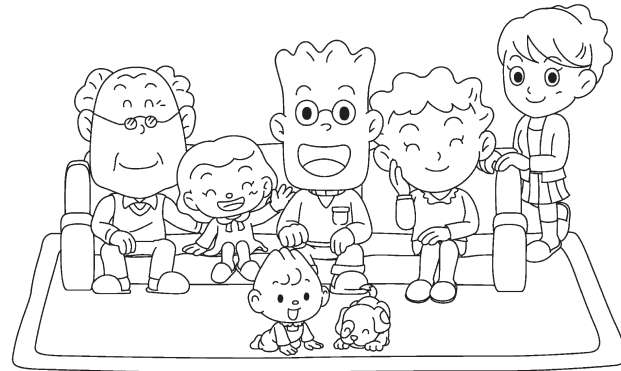
## データ 松山地域振興会

【設立年】昭和56年  
【構成区】中台・橋爪・和田・井脇・大朴・井尻・八田・小野・長谷  
【人口・世帯数】2,154人・864世帯(平成20.4.1現在)  
【会員】各区長、地域出身の議員、松山財産区管理委員会、公民館長の計20人  
【主な活動】●集落要望の集約、関係機関への陳情  
●地域振興に関する視察研修など



# 国民健康保険税の税率を改定します

みなさんの安心な暮らしを支え、万一のけがや病気に備える国民健康保険制度。国民健康保険に加入されている方の世帯主に負担いただく「国民健康保険税」は、この制度を支える大切な財源です。将来にわたって安定した制度の運営が行えるように、平成21年度から下記のとおり保険の税率を改定します。



## 保険税率を改定する理由は・・・

本町では、国民健康保険に加入されている方の医療費が年々増加し、それに伴って国民健康保険が負担する保険給付も増加しています。そのため、収入と支出のバランスが崩れているのが現状です。

収支のバランスを図るために、平成19年度にはこれまで積み立ててきた財政調整基金（不測の事態に対応するための貯金）を1億1千万円繰り入れて赤字を回避しました。しかし、平成17年度末に約4億2千9百万円あった同基金は、平成20年度末に約1億6千8百万円まで減少する見込みです。

将来にわたって制度の安定を図るためには、収支バランスのとれた健全な財政運営が必要であり、平成21年度においても段階的に保険税率の改定を行うこととなりました。

## 保険税の算定

平成21年度の国民健康保険税は、前年所得などに基づいて7月に年税額を賦課決定し、通知します。

新たな保険税率が反映されるのは、普通徴収（納付書や口座振替による納付）の場合は第4期（7月末日が納期限）から、特別徴収（公的年金からあらかじめ保険税を差し引いて納付）の場合は10月に支給される年金分からとなります。

## 介護納付金分の賦課限度額

介護納付金分の賦課限度額は、中間所得層の負担を軽減するために、現行9万円から10万円に引き上げられ、平成21年度の保険税から適用されます。

## 国民健康保険税の税率表

	医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分
所得割	6.7%	1.7%	1.7%
資産割	32.0%	8.4%	8.4%
均等割	24,900円	6,600円	7,200円
平等割	19,200円 (9,600円)	5,100円 (2,550円)	4,300円
賦課限度額	470,000円	120,000円	100,000円

\* 平等割の( )書きは、特定世帯に係る税額で、国民健康保険から後期高齢者医療（長寿医療）制度へ被保険者が移行し、国民健康保険の被保険者が1人となった世帯に適用される税額です。

\* 特定世帯の税額は最長5年間適用されますが、世帯構成に変動があった場合、適用が受けられなくなることがあります。

\* 均等割・平均割については、世帯の所得などにより7割・5割・2割の軽減があります。

☎ 問い合わせ／税務課 賦課係 ☎82-3802 (国民健康保険税に関する相談)

住民課 保険年金係 ☎82-3803 (国民健康保険の資格に関する相談)

# 65歳以上の方の介護保険料を統一します

65歳以上の方（第1号被保険者）の介護保険料は、丹波・瑞穂・和知地区で異なる金額設定でしたが、平成21年度から下記のとおり料金体系を統一します。

## 介護保険を取り巻く現状

平成12年度に介護保険制度がスタートして以来、被保険者のサービス利用は年々増加し、給付費が増え続けています。さらに、今般の介護報酬改定や医療制度改革に伴う療養病床再編などによって、今後も給付費の増大が見込まれます。

今回、合併協議での調整に基づき保険料を統一しますが、段階区分をこれまでの7段階から10段階（特例含む）に細分化することで所得の少ない被保険者の負担を軽減しました。また、給付費準備基金の取り崩しや介護報酬改定に対する国の交付金を活用することで、保険料上昇を抑えました。

## 保険料の納入方法

特別徴収：年金が年額18万円以上の人。原則として、年6回（偶数月）の年金定期支払いの際に、介護保険料をあらかじめ差し引きます。  
普通徴収：年金が年額18万円未満の人。口座振替や納付書で納入いただきます。

## 保険料の算定と納入時期

平成21年度介護保険料は、前年度所得に基づいて6月に賦課決定し、通知します。そのため特別徴収では、4・6・8月分を仮徴収として2月分と同額を納入いただき、6月に決定した年額から仮徴収分を差し引いた額を10・12・2月分の年金から納入いただきます。また、普通徴収については、6月～3月の10期で毎月納入いただきます。

## 介護保険料の料金体系表

段階	対象者要件	保険料（年額）	基準額に対する比率	
第1段階	老齢福祉年金の受給者で、世帯全員が住民税非課税の人、または生活保護を受給している人	24,500円	0.50	
第2段階	世帯全員が住民税非課税で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の人			
第3段階	世帯全員が住民税非課税で、第2段階以外の人	36,800円	0.75	
第4段階 (基準額) 特例	本人が住民税非課税で、世帯に住民税課税者がいる人	49,000円	1.00	
	世帯に住民税課税者がおり、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の人	46,600円	0.95	
第5段階	本人が住民税課税で、	合計所得金額が125万円以下の人	58,800円	1.20
第6段階		合計所得金額が125万円を超え200万円未満の人	63,700円	1.30
第7段階		合計所得金額が200万円以上500万円未満の人	80,900円	1.65
第8段階		合計所得金額が500万円以上1,000万円未満の人	90,700円	1.85
第9段階		合計所得金額が1,000万円以上の人	98,000円	2.00



☎ 問い合わせ／保健福祉課 介護保険係 ☎86-1800



# 『朝ごはんを食べまじやん』

## Dr's Message いきいき健康術 第20回

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員がみなさんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は国保京丹波町病院の管理栄養士 西垣公代さん。一日の活力源になる朝ごはんの大切さについてのお話です。

### 一日の始まりは朝ごはんから

みなさん、朝ごはんを食べていますか。最近では、若い世代を中心に朝ごはんを食べない人が増えています。しっかりと食べて、元気いっぱい出かけてみましょう。

### 朝ごはんは脳のエネルギー

朝ごはんは、ただ空腹を満たすだけではなく、眠っていた頭と体を目覚めさせ、一日のエネルギー源となる大切な食事です。特に、脳のエネルギー源となるブドウ糖は、体内に大量に貯蔵しておくことができないために、朝の脳はエネルギーが空っぽの状態です。

ついつい朝ごはんを抜いてしまった日は、ぼーっとしてしまったり、集中力がなかったり、そんな経験はありませんか。これは脳のエネルギーが不足していることが原因です。脳の重さは体重の約2%に過ぎませんが、脳が使用するエネルギーは体全体の20%も必要となります。

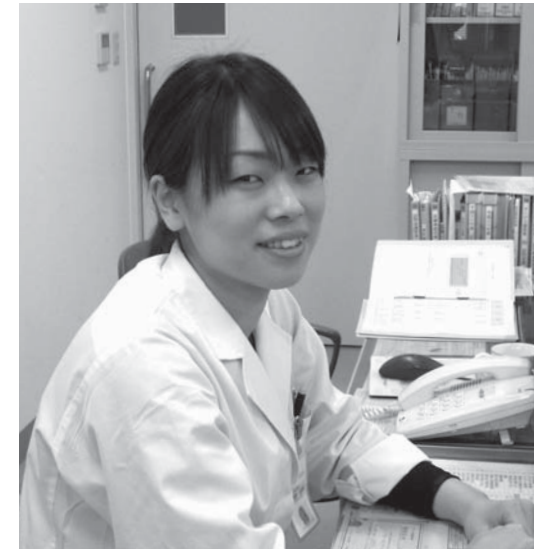
朝ごはんを食べることで脳のエネルギーをしっかりと補給し、すっきり目覚めて一日をスタートさせましょう。

### いつもの料理に工夫を

朝ごはんは、カルシウムたっぷりの、こんなお味噌汁はいかがですか。

- 「スキムミルク入り 具たくさん味噌汁」の作り方
- 〈作り方〉
- 野菜は食べやすい大きさに切り、油揚げは短冊切り、わかめは戻しておく。
  - だしをとって、具材を入れて煮えたら味噌を溶き入れる。
  - 仕上げにスキムミルクを溶き入れ、ねぎを散らす。

材料[4人分]  
じゃがいも(小1個)、たまねぎ(1/4個)、にんじん(1/4本)、油揚げ(1/2枚)、ねぎ(15g)、乾燥わかめ(2g)、だし汁(3カップ)、みそ(大さじ2と1/2)、スキムミルク(大さじ2)



管理栄養士 西垣公代さん(国保京丹波町病院)

四月一日から瑞穂病院は「国保京丹波町病院」に名称が変わりました。毎月の第二・第四土曜日の午前中に内科と小児科の診察を行っています。  
(電話) 8610220

### 地域スポーツの発展に貢献

#### 京丹波町スポーツ賞授与式

平成二十年京丹波町スポーツ賞授与式が二月二十五日、町中央公民館で開催され、受賞者ら約五十人が参加しました。

この賞は、長年にわたり地域のスポーツ振興に貢献された人や、各種スポーツ大会で優秀な成績を収められた個人・団体などが対象。今回は、十九人・四団体のみなさんが受賞しました。受賞者は次のみなさん。(敬称略)

- ▼【特別栄誉賞】  
▼奥戸知香(西河内)  
全日本高等学校バウリフティング大会・優勝、世界サブジュニアバウリフティング大会・五位

- ▼【功労賞】長年、地域のスポーツ振興に尽力した人  
▼川勝忠司(下山) 体育指導委員  
▼上田義美(妙楽寺) ソフトボール連盟  
▼吉尾裕子(中) 和知ジュニアカヌークラブ  
▼石原哲夫(広瀬) 体育協会
- ▼【優秀賞】  
▼大石康正(院内) 全日本学生バウリフティング大会・二位
- ▼【個人】  
▼徳島瑞希(新水戸) 全日本高等学校バウリフティング大会・二位  
▼乾友梨子(大倉、和田絵美(坂原) 国体カヌー、カヤックフォア・四位  
▼藤井希帆(升谷、堀真由香(本庄) B & G 杯全国少年少女カヌー大会、女子カヤックペア・四位  
▼梅原千佳(大倉、藤井澤(升谷) B & G 杯全国少年少女カヌー大会、女子カヤックペア・五位  
▼原田紘行(才原、松下和暉(長瀬) B & G 杯全国少年少女カヌー大会、男子カヤックペア・六位
- ▼【団体】  
▼蒲生野中学校女子ホッケー部 全日本中学生ホッケー選手権大会・三位など



スポーツ賞を受賞したみなさん(町中央公民館・蒲生)

### 菌床シイタケの生産量拡大に向けて

#### シイタケ菌床製造施設竣工式

シイタケ菌床栽培の製造施設が質美市内に完成し、竣工式が二月二十三日に行われました。

シイタケの菌床栽培は、オガコにふすまなどの栄養源を加えて固めたものにシイタケ菌を接種し、栽培する方法で、平成六年に旧瑞穂町森林組合が部会を設けて取り組みを開始。その後、部会から独立した生産者五人が農事組合法人「きのこ村」を設立し、生産性の向上や規模拡大を目指して、このたび新たな製造施設を建設されました。

竣工式では、同法人代表理事の隅田正夫さんが「完成した施設を活用して、生産量拡大に向けてがんばっていきたい」とあいさつした後、製造工程の説明や施設見学などを行いました。

建設された施設は、木造平屋建てで、施設内にオガコと栄養源を混ぜ合わせる大型ミキサーや殺菌がま、接種室などを設置。菌の接種までを施設内で行った後、生産者が菌種を持ち帰って栽培し、個別に道の駅などへ出荷されています。



施設見学をする関係者(きのこ村・質美)

わたしたちの町	
人口	17,124(-38)
男	8,103(-26)
女	9,021(-12)
世帯数	6,500(+2)
4月1日現在( )は前月比	

▼【スポーツ奨励賞】  
▼蒲生野区 町スポーツ交流大会地域対抗の部・総合優勝  
▼竹野口 「京都ギネスに挑戦」大縄跳び十二人の部で新記録を樹立



### 新たに始まる裁判員 制度を学ぶために 裁判員制度説明会

裁判員制度説明会(社団法人 船井青年会議所主催)が三月十九日、丹波マーズコミュニケーションホールで行われ、約六十人が参加しました。

裁判員制度は、国民から選ばれた裁判員が刑事事件に参加し、被告人が有罪か無罪か、そして有罪の場合どのような刑にするかを判断するもので、本年五月二十一日に開始。同会議所では、国民すべてが裁判員に選ばれる可能性があることから、事前に裁判員制度の内容や裁判員の役割などを学ぶために、京都府検察庁広報官桂真一さんを講師に招き説明会を開催しました。

桂さんは、「裁判が国民のみさんの身近なものになるように導入される制度です。みなさんも制度を十分に理解いただき、裁判員として参加していただき」と話された後、資料を使ってわかりやすく制度の説明をされました。



制度説明をする桂さん(丹波マーズ・須知)

### 安全な道路を目指して町道の改良工事が完成 町道大迫上乙見線道路改良工事完成式

町道大迫上乙見線(下乙見―上乙見間)道路改良工事の完成式(上乙見区主催)が三月十四日、上乙見公民館などで行われ、地元住民ら約五十人が参加しました。

今回の工事は、下乙見―上乙見までの約二キロの区間で、これまで幅四メートルで離合が困難であった道路幅を、片側一車線の幅六・五メートルに拡張したもので、平成十五年度から工事を開始し本年二月に完成。総事業費は約五億三千万円。

完成式に先立って行われた開通式では、松原町長や地元区長らによるテープカットの後、参加者が車でパレードを実施。同公民館で行われた完成式で



道路改良工事の完成を祝ってあいさつする松原町長(上乙見公民館・上乙見)

### 地域資源を掘り起こして活性化の方向性を探る 「元気!長瀬の会」がワークショップを開催

三月一日、長瀬区と近畿大学農学部で組織する「元気!長瀬の会」が、長瀬地区の活性化を目指したワークショップを開催し、地元区民や学生ら約五十人が参加しました。

ワークショップは、同区内にある地域資源を掘り起こし、その資源を生かした活性化の方向性を探ることを目的に実施。今回は、参加者が地域の状況認識と情報共有を図るために、四季折々の風景が望める場所や旬の食材の収穫場

所などを三班に分かれて出し合い、地図上に落とし込みました。

同大学の池上教授は、「地域で大切なことがないと思うものでも、都会の人から見れば素晴らしいと感じるものがある。それらを見つけて出して、地域の活性化に役立てていきたい」と話し、参加者らとともに議論を重ねました。

なお、今回作成する地図は、完成後に同区内のアグリパークわちや野菜直売所などで観光案内として使用されます。



地域資源について議論を深める参加者(長瀬公民館・長瀬)

### 思い出を胸に新たな旅立ち 卒業・卒園式

三月十三日、町立中学校(浦生野・穂・和知)の卒業式が各校で行われ、計百四十四人が卒業しました。

和知中学校の卒業式では、古杉辰義校長から卒業生に卒業証書が手渡された後、在校生代表の谷瑞希さんが「先輩方のいつも明るく前向きに取り組み姿はわたしたちのあこがれでした。希望に満ちた未来に向かって進んでください」と送辞を述べました。続いて、卒業生代表の原田勝太さんが「三年間の学校生活を通じて仲間の大切さを学びました。わたしたち卒業生はこれからも友情を大切にしていきたいです」と答辞を述べました。

三月二十三日には、町立小学校(八校)で卒業式が行われ、計百七十人が卒業。また、三月十八日に須知幼稚園で二



卒業証書を受け取る卒業生(和知中学校・市場)



卒園式で元気いっぱい歌う卒園児(上豊田保育所下山分園・下山)

### 乳幼児の健康を守るために 子育て講演会

子育て講演会が三月二十四日、瑞穂保健福祉センターで行われ、約十人が参加しました。

講演会は、子育てに関する疑問や悩みを解消し、子どもの健やかな成長を支援することを目的に実施。今回は、高屋こども診療所の高屋和志院長を講師に招いて、「乳幼児の健康について」と題した講演を行いました。

講演の中で高屋院長は、「子どもの体調の変化は家族が一番よくわかる。『あのときに受診していれば』と思うことがないように、体調の変化を感じて不安を感じるときは医療機関で受診してほしい。また、子育てで大切なのは、一人で抱え込まずに誰かに相談すること。電話相談などを利用して不安を解消してください」と話されました。



乳幼児期の病気などについて講演する高屋院長(瑞穂保健福祉センター・和田)

### 地域の伝言板 わくわくBOX

わたしと  
もみじマーク



もみじマークが義務化された当初、老人であるにもかかわらず抵抗もあり、少々傷ついたわたしです。老人のくせに老人とみなしてほしくないわがままだったのです。

もみじマークがついていけば、他の車の運転者たちは気をつけてくれるでしょうし、現在多発している高齢者の交通事故もかなり減ることでしょう。

運転に気をつけながら、今ではすっかり慣れてしまったもみじマークに守られ丹波路を走っているわたしです。(高岡・林淳子)

投稿ありがとうございます。初めてもみじマークを付けるときの思いは、多くの人が共感されるでしょうね。もみじマークを付ける人だけではなく、わたしたち周囲のドライバーも安全運転に心がけたいと思います。

このコーナーは、「身近に起こった出来事」や「感動したこと」、「みんなに教えてあげたい・わたしの健康術」、「こんなサークル活動始めました」など、読者のみなさんの身近な情報発信としてご利用ください。

【送先】  
〒622-0292(住所不要)  
京丹波町企画情報課広報京丹波  
「わくわくBOX」係  
●ファックス/82-2500  
●Eメール  
kikaku30@town.kyotamba.kyoto.jp



## まちの元気人

絵本サークル「きいろいばけつ」

梅原

うめはらちさと

千里

さん(42歳)

市場



絵本を通じて  
たくさんの「感動」を  
伝えたい。

「多くの子どもたちの笑顔と、たくさんの絵本に出会えるのが楽しみです」と話すのは、絵本サークル「きいろいばけつ」の代表を務める梅原千里さん(市場)。

同サークルは、「絵本の持つ力を読み聞かせによって子どもたちに伝えたい」、「子どもたちがより多くの絵本と出会ってほしい」との思いから、梅原さんらが中心となつて平成十六年五月に発足。現在は会員十人で、毎週火曜日(和知小学校で行われている朝読書)での読み聞かせをはじめ、わちんエンジェルやちびっこ広場などで活動を展開。昨年六月からは、より多くの子どもたちが絵本と触れ合えるように、和知ふれあいセンターで「えほんはともだち」を開催されています。

「会員は働いている人ばかりなので、『無理のないように、できる範囲で続けていこう』をモットーに活動しています」と梅原さん。会員の負担にならないように、担当や順番を決めず都合がつく人が中心となつて活動されています。その一方で、会員の特技を生かした指遊びやペープサートなどを取り入れて、積極的に子どもたちを楽しませる工夫をされています。

絵本の魅力を聞くと、「絵本は、自分で読むのと、読んでもらうのでは感じ方がまったく違います。でも、やっぱり絵本は読んでもらうもの。絵を見て、ストーリーを聞くことで、絵本の本来の世界が味わえます。また、絵本は子どものためだけのものではないので、多くの人に心に響く



和知小で行われている朝読書の様子

一冊を見つけてほしいですね」と絵本を見つめながら話す梅原さん。サークルのみなさんが伝える絵本の世界は、いつも夢や希望に満ちあふれ、子どもたちにたくさんの感動を与えています。

## 編集後記

四月に入り新年度がスタートしました。人事異動により職員の配置が変わりましたが、広報担当は編集子が引き続きお世話になることになりました。これまでに学んだことを生かして精一杯がんばりますのでよろしくお願いいたします。

▶今回、「まちの元気人」の取材を通じて、絵本の読み聞かせを初めて体験。サークルのみなさんの声に耳を傾けながら、子どもたちと一緒に絵本を見つめていると、心が安らいで落ち着いた気持ちになりました。

みなさんも一度、絵本の読み聞かせを体験してみたいはいかがでしょうか。(K)